

石垣絢子個展シリーズ「言葉と音楽」は札幌市出身の作曲家石垣絢子の作品演奏会です。これまで声楽曲や合唱曲、ミニオペラなど言葉を用いた楽曲を発表してきました。2021年札幌市民劇場奨励賞を受賞。今回は新美南吉作品を「朗読」と「音楽」と「映像」で表現する、子どもから大人まで楽しめる音楽会です。



[作曲・ピアノ・企画]

## 石垣 絢子 Ayako ISHIGAKI

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。高校生までピアノを中山ヒサ子氏に師事。2009年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門中田喜直賞の部優秀賞。2017年札幌市民芸術祭新人音楽会大賞(作曲部門)。



[朗読]

## 中山 ヒサ子 Hisako NAKAYAMA

日本音楽療法学会認定音楽療法士。ピアニスト、チェンバリスト、ピアノ指導者。札幌大谷大学元教授。NPO法人「和・ハーモニー音楽療法研究会」理事長。



[イラスト・映像]

## 瀧口 希望 Nozomi TAKIGUCHI

早稲田大学・大学院建築学修了ののち、広告会社マーケティングプランナーを経て2017年より瀧口希望デザイン事務所を設立。イラストレーション青山塾ベーシック科23期修了。



提供：新美南吉記念館

## 新美 南吉 Nankichi NIIMI (1913～1943)

1913年7月30日愛知県生まれ。14歳頃から童謡、詩、童話の創作を始める。東京外国語学校を卒業後、故郷・愛知で女学校の教師をしながら執筆活動を続けるが1943年結核により29歳で逝去。18歳の時の作品「ごんぎつね」は現在も小学4年生の国語の教科書に掲載され、幅広い世代に親しまれている。他に「手袋を買いに」「おじいさんのランプ」「赤い蠟燭」などがある。



## 渡辺淳一文学館

北海道札幌市中央区南12条西6丁目414  
地下鉄南北線「中島公園駅」  
3番出口より徒歩8分

※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください

